

令和6年度 主任研修:対人援助者監督指導(スーパービジョン)

日時:令和6年10月18日(金)

段階	時間	所要時間	形式	内容	使用書類	事務局に依頼	場所
挨拶・説明	9:00	5					
	9:05	10		個人スーパービジョンの進め方再確認			
演習	9:15	25	グループ	1.事例の理解【2事例目】 ①事例提供者からの概要説明・提出理由。質問・確認。 ②Aさんらしさの共通理解	事例概要+ 様式0 様式1 様式5①②	ブレイクアウトルーム (24分+60秒)	
演習	9:40	25	グループ	2.スーパービジョン契約 ③Aさんに対する対人援助技術について自己評価 ④事例提供者(バイザー)としてスキルアップしたい対人援助技術についての自己評価から指導を求めること。 ⑤バイザー役はスーパーバイザーの視点で介護支援専門員の対人援助技術を他者評価する。 ⑥介護支援専門員がスキルアップしたい課題の中から、優先度の高い課題を絞り込む。 ⑦バイザー役は⑥の課題に対して指導する場合、どのような準備が必要か、参加者に意見をもらう。 ※1担当介護支援専門員について ※2事業所の状況について ※3主任介護支援専門員と介護支援専門員との関係等	★様式2 (参考) 様式5 ③④⑤⑥⑦	ブレイクアウトルーム (24分+60秒)	
演習	10:05	10	グループ	3.スーパービジョン確認 ⑧指導目的、指導内容、指導方法、指導日時を決める。 ①～⑧についてグループ内で共有する。 ※書記は要点を記録する。	様式5 の整理	ブレイクアウトルーム (9分+60秒)	
休憩	10:15	10	休憩	休憩			
				4.個人スーパービジョンロールプレイ ・事例提供者はスーパーバイ			

演習	10:25	15	グループ	ジー役 ・主任介護支援専門員はスーパーバイザー役 ・他のメンバーは、観察者・記録者(様式4に気づきを記録)	様式4 気づきシート	ブレイクアウトルーム (14分+60秒)
演習	10:40	15	グループ	5.ロールプレイの振り返り ①バイザー、バイザーからの意見 ②観察者、記録者からの意見	様式3 書記シートの整理	ブレイクアウトルーム (14分+60秒)
発表	10:55	10		6.全体発表による共有とまとめ	様式3を中心に発表	チャット
休憩	11:05	10	休憩			
演習	11:15	25	グループ	1.事例の理解【3事例目】 ①事例提供者からの概要説明・提出理由。質問・確認。 ②Aさんらしさの共通理解	事例概要+ 様式0 様式1 様式5①②	ブレイクアウトルーム (24分+60秒)
演習	11:40	25	グループ	2.スーパービジョン契約 ③Aさんに対する対人援助技術について自己評価 ④事例提供者(バイザー)としてスキルアップしたい対人援助技術についての自己評価から指導を求めること。 ⑤バイザー役はスーパーバイザーの視点で介護支援専門員の対人援助技術を他者評価する。 ⑥介護支援専門員がスキルアップしたい課題の中から、優先度の高い課題を絞り込む。 ⑦バイザー役は⑥の課題に対して指導する場合、どのような準備が必要か、参加者に意見をもらう。 ※1担当介護支援専門員について ※2事業所の状況について ※3主任介護支援専門員と介護支援専門員との関係等	★様式2 (参考) 様式5 ③④⑤⑥⑦	ブレイクアウトルーム (24分+60秒)
演習	12:05	10	グループ	3.スーパービジョン確認 ⑧指導目的、指導内容、指導方法、指導日時を決める。 ①~⑧についてグループ内で共有する。 ※書記は要点を記録する。	様式5 の整理	ブレイクアウトルーム (9分+60秒)
昼休憩	12:15	60				
				4.個人スーパービジョンロールプレイ ・事例提供者はスーパーバイ		

演習	13:15	15	グループ	ジー約 ・主任介護支援専門員はスーパーバイザー役 ・他のメンバーは、観察者・記録者(様式4に気づきを記録)	様式4 気づきシート	ブレイクアウトルーム (14分+60秒)
演習	13:30	15	グループ	5.ロールプレイの振り返り ①バイザー、バイザーからの意見 ②観察者、記録者からの意見	様式3 書記シートの整理	ブレイクアウトルーム (14分+60秒)
発表	13:45	10		6.全体発表による共有とまとめ	様式3を中心に発表	チャット
演習	13:55	25	グループ	1.事例の理解【4事例目】 ①事例提供者からの概要説明・提出理由。質問・確認。 ②Aさんらしさの共通理解	事例概要+ 様式0 様式1 様式5①②	ブレイクアウトルーム (24分+60秒)
演習	14:20	25	グループ	2.スーパービジョン契約 ③Aさんに対する対人援助技術について自己評価 ④事例提供者(バイザー)としてスキルアップしたい対人援助技術についての自己評価から指導を求めること。 ⑤バイザー役はスーパーバイザーの視点で介護支援専門員の対人援助技術を他者評価する。 ⑥介護支援専門員がスキルアップしたい課題の中から、優先度の高い課題を絞り込む。 ⑦バイザー役は⑥の課題に対して指導する場合、どのような準備が必要か、参加者に意見をもらう。 ※1担当介護支援専門員について ※2事業所の状況について ※3主任介護支援専門員と介護支援専門員との関係等	★様式2 (参考) 様式5 ③④⑤⑥⑦	ブレイクアウトルーム (24分+60秒)
演習	14:45	10	グループ	3.スーパービジョン確認 ⑧指導目的、指導内容、指導方法、指導日時を決める。 ①～⑧についてグループ内で共有する。 ※書記は要点を記録する。	様式5 の整理	ブレイクアウトルーム (9分+60秒)
休憩	14:55	10	休憩	休憩		
演習	15:05	15	グループ	4.個人スーパービジョンロールプレイ ・事例提供者はスーパーバイザー約 ・主任介護支援専門員はスーパーバイザー役 ・他のメンバーは、観察者・記録者(様式4に気づきを記録)	様式4 気づきシート	ブレイクアウトルーム (14分+60秒)

演習	15:20	15	グループ	5.ロールプレイの振り返り ①バイザー、バイザーからの意見 ②観察者、記録者からの意見	様式3 書記シートの 整理	ブレイクアウトルーム (14分+60秒)
発表	15:35	10		6.全体発表による共有とまとめ	様式3を中 心に発表	チャット
終了	15:45			事務局にボタンタッチ		あれば事務連絡